

小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ <http://rid2510.org/otarusouth/>

昭和35年2月5日

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ



Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建 雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを 実践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを 実践し みんな豊かな人生を>の理解を 深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●今日1月10日(金)のプログラム

- ◎会長年頭挨拶
- ◎年男卓話 山田(幸)会員・北野会員

●来週1月17日(金)のプログラム

- ◎クラブフォーラム 「下期活動について」

●再来週1月24日(金)のプログラム

- ◎小樽市民国際交流会議実行委員会

●第24回例会報告 12月20日(金) 「社会奉仕委員会担当例会」



Happy New Year 2014 Dear Rotarians!!



■ロータリーソング■ 「奉仕の理想」

■ゲスト・ビジターの紹介■

島 常雄 氏 (花園グリーンロード桜の会副会長)



今年も残すところ、10日あまりで大晦日本日の当例会が上期の最終例会であります。

役員・理事並びに会員皆様のご協力をいただき恙なく活動を実施して頂き感謝申し上げます。

クラブ活性化を思い柔軟性・多様性を考えながら、スタートしましたが"ロータリーの基本を守る"に変えられること、変えてはならぬこと等々を考えながら戸惑い迷いながらの時もありましたが、最終的には、各会員を信頼し皆様のご協力で上期を経過してまいりました。誠に有難うございました。

一文字で一年の世相を表す恒例の清水寺森清範貫主様の揮毫したのが"輪"という一文字。貫主いわく

◎輪は大勢の人が手を握り合い円滑に回転していく意味

◇平和の輪が繋がっていくことを願うと云うことでした。

私は、"車、篇の わ でなく、"禾、篇の わ と云う一文字が脳裡に浮かんできました。今大切なのは夫

婦の和 親子の和 友人・知人の和 隣人同志の和 等々であり究極の和は、世界の人々の友愛の和即ち世界平和であり、ロータリーソングで斉唱しております「奉仕の理想」の最終目標でもあります。

私達ロータリアン自身身近な人々との和を大切にしていきたい。

私、この上半期ロータリーの心を持って日々過ごして参りました。また今後共自分自身に言い含めて研鑽して参るつもりです。

明年が会員皆様にとって最良の年でありますよう健康に留意されご家族共々ご多幸をご祈念申し上げます。

以上、上期の締め言葉と致します。

締めの言葉 『和を以て貴しとなす』

《意味》 和を以て貴しとなすとは、何事をするにも、みんなが仲良くやり、いさかきを起こさないのが良いということ。

【和を以て貴しとなすの解説】

《注釈》 人々がお互いに仲良く、調和していくことが最も大事なことであるという教え。聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条に出て来る言葉。『礼記』には「礼は之和を以て貴しと為す」とある。『和』の精神とは、体裁だけ取り繕ったものではなく、自分にも人にも正直に、不満があればお互いにそれをぶつけ合い、理解し合うということが本質ではなかろうか。

《用例》 「あなたの言い分もわかるが、相手の言い

分にも聞き耳を立ててみてはどうか。お互いに認め合う気持ちを持ち、正しいところは正しい、間違いは間違いだと素直に認められるような議論をするべきだ。和を以て貴しとなすだよ」

■委員会・同好会報告■

◎見延国際奉仕委員長

米山記念奨学会への特別[個人]寄付金集計結果報告

●地区からの要請額

特別寄付 @12,000円×69名= 828,000円
 普通寄付 @ 4,000円×69名= 276,000円
 合計 @16,000円×69名=1,104,000円

●小樽南RC実績

特別寄付 910,000円/69名=@ 13,188円
 普通寄付 276,000円/69名=@ 4,000円
 合計 1,186,000円/69名=@ 17,188円

●地区からの要請額

一人当たり@16,000円に対して、7%アップの17,000円の寄付を頂いた。総額 1,186,000円

●募金要請基準

大口寄付に頼らず、既に30万以上の米山功労者にはお願ひしなかった。吹越会長のみ10万円の大口寄付を頂いた。

多くの会員から1~2万の協力要請を行った。会員69名中53名(77%)の会員から寄付を頂いた。何名かの会員には手が回らず声をかけることが出来なかった。

●御礼

日中、日韓関係等厳しい関係にある中ながら、米山奨学制度が単なる奨学金の支給制度では無く、将来日本と母国との相互理解と世界平和に貢献する人材の育成、民間親善大使の育成と云う米山奨学会の原点にたつての理念と理解から協力して頂いたものと深く御礼申し上げます。有難うございました。

●今後の課題

この貴重な財源を活かす上で最も大切なことは、奨学期間中 奨学生とロータリアンとがどれだけ多くの接触の機会を持ち交流を深め、日本人と日本のことを学び、思い出として残すかによって、将来民間親善大使になるかどうかが決まるものと思います。



そこに世話クラブとしての責任と役割があり、我がクラブでは 李アルムさんとどう関わっているかにかかっています。

カウンセラーが中心的係わりを持ちますが、会員の皆さんの御協力を改めてお願いします。

尚、募金活動に当っては岩船早苗会員に絶大な協力を頂きました。感謝。

◎松浦ロータリー財団委員長

・去る12月15日札幌にて開催されました第36回札幌インターナショナルナイトに参加して参りました。参加定員が350名を超え特に高校生の参加者が多数おりましたが、小樽3クラブの新奉仕活動として企画いたしました「小樽市民国際交流会議」の趣意書・開催要領等のゲラ刷りが出来上がりましたので斎田副実行委員長と一緒に小樽市役所・小樽市教育委員会へ後援の依頼に行き共にご賛同いただき準備は着々と進んでおります。



12月25日は、小樽RC・銭函RCとの3クラブでの打合せがあります。新年1月に入りまして早急に記者会見を開き積極的にアピールしていきたいと思っておりますので会員皆さま方の甚大なるご協力のほどお願いいたします。後日詳細につきましてご説明させていただきますのでご尽力のほど重ねてお願い申し上げます。

Main theme
 「築こう 世界相互理解, 進めよう 積極的国際交流を」
 Conference Theme: "Let's establish World Mutual Understanding, Promote Positive International Exchange."
 小樽市民国際交流会議
 Otaru International Exchange Conference

とき
 Date and Time
 2014年2月22日(土) 13:00~17:00
 Date and Time: February 22, 2014 (Saturday); 13:00~17:00

ところ
 Place
 小樽市南港11番3号 グランドパーク小樽 5F
 Grand Park Otaru, 5F 11-3 Chikko, Otaru

ディスカッションテーマ
 Discussion theme
 A. 国際交流 International Exchange
 B. 日本の教育 Education in Japan
 C. 小樽観光 Tourism in Otaru

・参加定員数: 70名 (高校生・大学生 留学生 市民 在住外国人)
 High School and college students, international students, Citizens, and foreign nationals
 ・募集締切日: 2014年1月31日(金)
 Deadline for application: January 31, Friday, 2014

■主催/ 国際ロータリー第2510地区 小樽・小樽南・小樽銭函ロータリークラブ
 The Rotary Club of Otaru / The Rotary Club of Otaru South / The Rotary Club of Otaru Zenbun
 ■後援/ 小樽市・小樽市教育委員会
 Otaru City / Otaru City Board of Education
 ■協力/ 小樽医科大学国際交流センター
 National University Corporation Otaru University of Cooperation

小樽市民国際交流会議 実行委員会
 Otaru International Exchange Conference Executive Committee

■幹事報告■ 山村幹事

・期末家族懇親会会場にて「傘」の忘れ物がありました。事務局の方に置いておきます。また会場のテーブルの上に「準優賞」の賞品が遺留しておりました事務局の方に預けておりますのでお心当た

りの方がおられましたらご確認下さい。

- ・余市ロータリークラブから会報が届いております。
- ・岩内ロータリークラブ
休会のお知らせ：12月26日(木) 1月9日(木)
- ・第2510地区事務局よりフィリピン台風災害復旧支援義援金のお願いが来ておりますのでこれから「ザル回し」をさせていただきます。
(当日出席会員義援金6万円+クラブ4万円=10万円を募金)
- ・新年1月10日(金)が下期初回の例会となりますが、会員皆様方には「年末年始」をお健やかに過ごしにられ新年初回の例会には多数のご出席をお願いいたします。



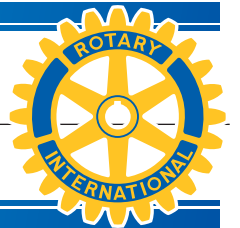
◇正武家事務局委員へ賞与◇

今年もご苦労様でした!



クラブアツセンブリー開催

1月15日(木) 時間: PM 6:00~ 場所: ニュー三幸3階



小樽南ロータリークラブ年次総会次第

〈定足数〉本日の出席者数 44名 (定足数に達する)

第1号議案:

- ・次次期会長選任の件：廣部会員に決定致しました。(拍手で承認)
(会長ノミニー廣部隆夫会員)

◎廣部会長ノミニーご挨拶

総会でのご承認をいただきまして改めてまして身の引き締まる思いです今後とも宜しくお願い申し上げます。

第2号議案:

- ・下期会費の件：会費 85,000 円にいたします。(拍手で承認)

第2号議案:

- ・2014-2015 年度理事・役員承認を求める件 (会長エレクト加藤正幸会員)
(拍手で承認)

- ・2014-2015 年度小樽南ロータリークラブ理事・役員

会 長	加藤 正幸	理 事	福島 正紘	(社会奉仕委員長)
副 会 長	浜本 進	理 事	岡崎 芳明	(国際奉仕委員長)
直前会長	吹越 範義	理 事	永原 勢子	(新世代奉仕委員長)
次期会長	廣部 隆夫	理 事	高木 成一	(ロータリー財団委員長)
幹 事	工藤左千夫	会 計	本吉 一夫	
理 事	斎田 義孝 (職業奉仕委員長)	S A A	上野 正之	

第3号議案:

- ・下期会費の件：会費 85,000 円にいたします。(拍手で承認)

「5年目の花園グリーンロード桜の会」

桜の会副会長 島 常雄氏



「花園グリーンロード桜の会報告」

①設立から五年。十年計画でグリーンロードを桜並木に!!

- (1) 毎年5月に「清掃」・「お花見会」を開催 10月に花園小学校3年生の参加で「植樹祭」11月に「総会」と「清掃」活動。
- (2) 昨年度「グリーンロード愛護会」を並行して立ち上げ、「草刈り、清掃」[芝桜の植え付け等] 4、5、9、11月に役員会を開き、各事業を推進。



②収入・支出

平成22年度の「収入」は[街づくり助成金]の関係から192万円余り、それ以降は年58万から70万の会費収入で、今年度は678,723円、繰越金771,407円を加え1,450,130円。「支出」は、671,184円で「次年度繰越金」が778,946円。(会費会員は継続～新入を含め、10月末現在で593名)。

「26年度予算」は会費収入500,000円余りを見込み1,279,081円を計上。



③今後の課題

グリーンロードは冬期間、雪捨て場ともなっている。これまで25本の八重桜を植樹してきた。(花園小、菁園中の前庭に八重桜があり、それに続く桜ロードを目指して)今後、更に維持・管理に配慮が必要。

(除排雪要望、雪囲い等、ニセアカシアの古木と入れ替え等、地域住民の要望と市公園課との連携……)

■出席委員会

●平成25年12月20日

会員総数 69名 本日の欠席者 19名
阿部、荒木、浅村、石上、岡崎、小笠原、角野、紺谷、工藤、湊高木(成)、佐藤(公)、本間(彰)、福島、柴田、永原、山田(正)、坪井、濱本

●平成25年12月6日

会員総数 69名 出席摘要免除者数 17名
病欠者 0名 出席計算員数 名
ホーム欠席者数 12名 メーキャップ数 2名

純欠席者数 10名 確定出席率 84.38%

11月出席率 85.97%

■メーキャップ

12/20 阿部、柴田(小樽RC)

■メーキャップ受付

●平成25年12月27日分

小野 英樹氏、平松 正人氏、吉村 克之氏、伊藤 保夫氏、佐藤 慶一氏、宮本 孝雄氏、星野 昭雄氏、村住 俊幸氏(小樽RC)